



IDS審査委員賞(村田審査委員長)

ライスクッカーデュオ

(株式会社燕三条キッチン研究所)



大人二人が食べきれ、ほどよい量のご飯が炊ける
オールステンレス鍋。

食べたいときだけ手軽においしい炊きたてご飯が食べられます。

容量は最大約1.5合まで。

炊き上がりで最大500gまでの炊飯が可能です。

【審査委員コメント】

■「洗米の手間」「味が追求しづらい」という少量炊飯のちょっとした不満を、デザインで解決する意欲的な商品。

■「振るだけ」という洗米。甘味を引き出す「冷蔵庫での浸水」時に、スペースを圧迫しないサイズ感と形状。まだ市場認知の低い、甘味を引き出す「蒸気による炊飯」を採用するなど、すべてが新しく、使ってみたいと思わせる。

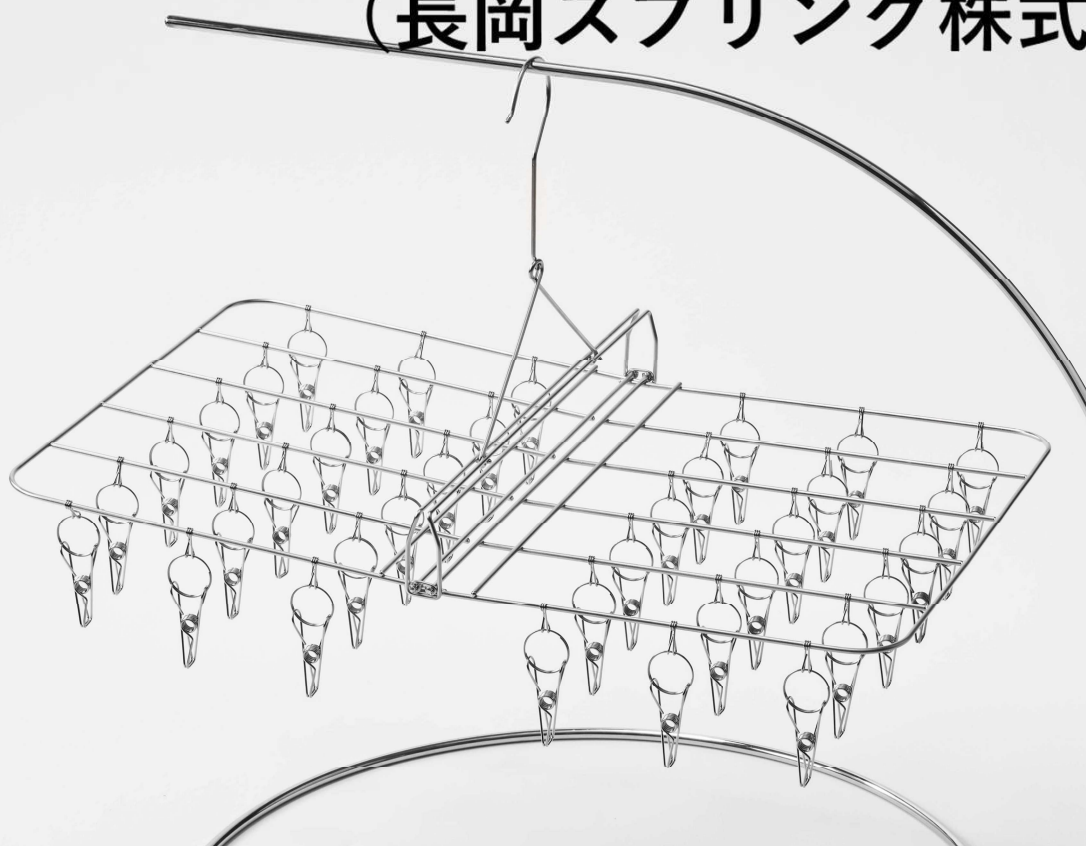
■健康な食生活を育むデザインを、新しい切口で発信する挑戦を応援したい。



IDS審査委員賞(土居審査委員)

ばね職人のしわざ クリオネ

(長岡スプリング株式会社)



洗濯物干しクリオネは国内メーカーの材料を使用し、職人による加工・組立で国産にこだわった。熟練の職人が持つ技術と経験で無駄を省いたデザインへ。シンプル、丈夫、長持ち。ピンチの揺れ動く様はまるでクリオネ。

【審査委員コメント】

- 機能美という言葉が似合う商品。
- OEM受注で「ばね材」の加工技術を培ってきた職人たちの技術と、国産素材の活用により、「これ以上は構造を削れない」というところまでシンプルさを追求した、というストーリーも味わい深い。ライフスタイルショップ、インバウンドなど、幅広い販路が想定される。
- パッケージ、ロゴなど「この価格になった理由」に納得いただくためのブラッシュアップを重ね、飛躍されることを期待したい。



IDS審査委員賞(永田審査委員) 「体験」がつなぐ地域の未来 (チタン発色ワークショップ)

(新和メッキ工業株式会社)



チタン発色の体験を通して、
子供たちにもものづくりの面白さを伝えるプロジェクト。
製造業の担い手不足という課題解決のため、
町工場が若い世代にアプローチしながら、
時代にマッチした体験販売という商流を確立した。

【審査委員コメント】

- 薬品を使うチタン発色で「移動できる工場見学」というコンセプトを実現したことにより、小学校など、ワークショップの活動範囲が広がった点が素晴らしい。
- 一般販売している商品と連動し、売上確保まで事業性を高めている点も良い。
- 「教える・教わる」ことで、人材育成、採用までつながるような地域産業のコンテンツ化は、今後の日本に必要不可欠。本活動が持続し、さらなる広がりを見せることを期待したい。

IDS審査委員賞(平山審査委員)

墨つけインク 50ml

空っぽマーカ―・墨つぽ用

(シンワ測定株式会社)



発色が良く、どの墨つぽでも使えるインク。
同時発売の墨つけ空っぽマーカ―と合わせて使うことで、
補充できる墨つけペンのインクとしても使える。
8色展開と豊富なカラーで、様々な場面に対応可能。

【審査委員コメント】

■木材、コンクリート、石膏ボード、金属面…あらゆる素材で発色する性能を担保しながら、今まで無かった色まで実現させた点で、コロンブスの卵である。特に「白」の発色は秀逸。

■色数が増えたことにより、職人たちの仕事に個性が生まれ、現場がシンプルに楽しくなる光景が目に見える。

■目印に引いた線を消す作業など、現場にはまだまだ隠れた負担と解決ニーズがある。今後も心地よい作業につながる道具を作してほしい。

IDS審査委員賞(廣田審査委員)

栄ヒルズ Dtype neko latte

(有限会社栄工業)



当社の技術と動物愛護団体の知恵を結集し、保護を目的とした製品が「ねこラテ」です。人と猫が共存するために必要な「TNR活動」や、災害時の愛猫を家族のもとに返す活動などあらゆる「保護」の場面で活躍中です。

【審査委員コメント】

■「捕獲から保護へ」。動物保護団体との連携による視点の切り替えが、製品細部にまで行きわたる好プロジェクト。

■しかけ部分の磁石使用が秀逸。猫を傷つける心配が減るうえ、使い方により子猫の保護も可能な特徴を生んでいる。災害時など、家族である飼い猫保護に役立つ。

■光沢や色を変え金属感をなくす、ゴムで消音するなど、よりストレスが減る可能性も見出せる。「保護」というコンセプトで、さらなるブランド化を期待する。



IDS審査委員賞(矢島審査委員賞)

野鍛冶やまご

ちょっと深めの鉄フライパン

(株式会社近藤製作所)



150年続く鍛冶屋が作った鉄フライパン。
人々の生活に密着した暮らしの道具を作る「野鍛冶」の精神で、
実際に使う人の声を聞いて作りました。
テフロンフライパンと違い、世代を跨いで永く使えます。

【審査委員コメント】

- 重くなりがちな鉄フライパンを、バランスの妙で「あれ？見た目より軽い？」と感じるまでに作り上げた技術とデザインが素晴らしい。
- ハンドルは華奢な見た目から想像するよりも持ちやすい。底の絶妙な深さも良い。
- 「現代の野鍛冶」というキャッチコピーは心地よく伝わる。この素朴さと、商品の佇まいから感じる「いい意味の野生味」をブランドコンセプトとした、今後の事業、商品展開が楽しみである。